

誰もが共に生きる埼玉をつくる学習会

主催

誰もが共に生きる埼玉を目指し、埼玉朝鮮学校への補助金支給を求める有志の会

<https://tomoni-saitama-koreanschool.org>



人は例外なく「自分がなにものであるか」というアイデンティティが必要です。日本には在日朝鮮人の通う数多くの朝鮮学校があります。この学校は日本で暮らす在日朝鮮人が自らの言葉や文化を学ぶために自主的に設立されました。埼玉県にも朝鮮初級学校があり 200 人を超える子どもたちが学んでいます。埼玉県は、県内に暮らす全ての子どもたちの発達と成長を保証するために、学校運営補助金を支給してきました。しかし、様々な理由で補助金が打ち切られて 10 年となります。国も高校無償化の対象から朝鮮学校を外し、同幼稚園もその影響を受けています。各地でこの問題に関する裁判も行われていますが、大阪地裁の判決（2017 年 7 月）を除いて、国の言い分を認める不当な判決が続いています。そして現在「嫌韓」を煽るメディアや政治家によって、状況はさらに悪化しています。

人は誰でも「命や尊厳の重さは同じ」です。「どんな場所にある不正も、あらゆる場所の公正への脅威となる（キング牧師）」ものです。どうしてこのような問題があるのか、どうすれば解決できるのか。多くの人と考えあうために、連続で学習会を開催しています。

第 5 回学習会

多文化共生のまちづくり

ヘイトスピーチ条例と川崎～桜本のとりくみ

川崎市の桜本は戦前から「コリアンタウン」があり、多文化共生のまちとして知られています。しかし、それゆえに在特会などによるヘイトスピーチの攻撃的になされてきました。そうした中、「ヘイトスピーチ規制条例」に向けてオール川崎での動きが始まっています。差別を許さない、多文化共生のまちづくりを進めている桜本から沢山のことを学びましょう。

日時：2019 年 11 月 1 日（金）
18:30～20:30（18:15 受付開始）

会場：浦和コミュニティーセンター
9 階 第 15 集会室
浦和駅東口徒歩 1 分 パルコ上階

参加費：無料

問い合わせ：tomoni.saitama@gmail.com



講師：崔江以子（チェカンイチャ）

在日 3 世 1995 年より川崎ふれあい館勤務 川崎ふれあい館は川崎市の条例に基づき、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していくため、川崎市が設置。社会教育事業を担当し、市民向けの講座の企画実施、行政機関や教職員の研修、小中高校大学の授業、研修会講師など共に生きるための啓発活動を行っている。2016 年 3 月 国会参議院法務委員会にてヘイトスピーチの被害を参考人陳述。ヘイトスピーチを許さない川崎市民ネットワークの事務局として、川崎市に人差別撤廃条例制定を求めて活動中。

トークコーディネーター：猪瀬浩平（いのせこうへい）

誰もが共に生きる埼玉を目指し、埼玉朝鮮学校への補助金支給を求める有志の会共同代表
明治学院大学教授・NPO 法人のらんと代表理事

※会の趣旨に沿わない方の入場を固くお断りします。また会の進行を妨害したり、許可なく無断で録音・撮影や配信行為等が行われた場合（恐れのある場合含む）は、主催判断により退場措置をとり、場合によっては法的措置をとります。